

面積表	既定式に準じて算出	試験場	
規模面積	42 x 22 = 924	924.0 m <sup>2</sup>	1,512 m <sup>2</sup>
最上階 (既定)	35 x 22 = 770	770.0 m <sup>2</sup>	
基準階 (既定)	42 x 22 = 924	924.0 m <sup>2</sup>	x 5階
1階 (既定)	42 x 22 = 924	924.0 m <sup>2</sup>	
貨物室A及び貨物室Bの合計面積 (既定)	700.0 m <sup>2</sup>	700.0 m <sup>2</sup>	x 5階 = 3,500 m <sup>2</sup>
DS'L → 個別電源空調 自然採光		2/16 (18)	

要求図面では表せない建築物の計画上の要点等について、次の(1)~(7)を具体的に記述又は図示する。

(1) 基準階(貸事務室A、貸事務室B及び共用部)について、次の①、②の観点から配慮したこと **キ-1(2)**

①収益性(レントラブル比に関する記述は除く。)や可変性 **キ-0(5) 設計条件** **利便性=収益性の説明が大事だと思う**  
 貸事務室A、貸事務室B共に**無柱空間**とすることで、広く空間を利用できるため**収益性**が高く、自由に間仕きれるので**可変性**も高い室とした。  
 ②快適性やテナント及び利用者の多様性  
 貸事務室A、貸事務室B共に、**南側に窓を多く設けて採光をとり**、利用者の**快適性**に配慮した。

(2) 最上階(シェアオフィス、共用部及び屋上庭園)について、収益性や快適性、多様な働き方に対応可能な空間づくりの観点から配慮したこと **キ-2(2)(3)(4)** **モチベーションを上げる**

シェアオフィスの**ラウンジに屋上庭園と隣接して設け**、シェアオフィスの利用者が**休憩したり**、利用者同士での**コミュニケーション**がとりやすい場所とした。**目的を明示 効果を明示**  
**目的を明示 効果を明示**  
 ③採用した構造種別と、その構造種別を採用した理由(無柱空間とするに当たり工夫したこと及び耐震性や経済性等について配慮したことを含む) **キ-3(4) 経済性を示す**

採用した構造種別 (○で囲む) 木造 ・ 鉄骨造 ・ **RC造** ・ SRC造 ・ その他( )  
 採用した理由(工夫したこと等) : **耐震性に配慮してRC造で建設することとし、無柱空間を構成するためにPC梁を使用した上で梁せいを他材も高く、PC梁を支えた柱は800x1000mmの断面寸法とした。**  
**耐震性を示す 具体的な手段と目的を回答する** **建物高が高いため、地震力に対する影響を軽減するためにRC造を採用して耐震性を高める**

(4) 貸事務室A及び貸事務室Bに採用した空調方式と、次の①、②の観点から配慮したこと **キ-4(1)** **通称ではなく公称を記す**

採用した空調方式 **天井カセット型** **空調冷熱ポンプユニット方式** **キ-4(2) 室内機、配管スペース**  
 ①設備スペース(室内機、室外機、配管スペース等)の確保 → **室外機を置くための設備スペースを屋上の北側に確保し、各階の奇数階に適切にPSを設けた。** **キ-0(3) 基準階内PSは貸事務室用PSで済む**  
 ②貸事務室A及び貸事務室Bの快適性  
**天井カセット人型を空調に採用することで、貸事務室A及び貸事務室Bの天井高を2.8m確保し、利用者の快適性に配慮した。** **キ-0(3) 設計条件** **因果関係が不明**

(5) 貸事務室A及び貸事務室Bに採用した排煙方式と、その排煙方式を採用した理由及び配慮したこと **キ-5(2)** **採煙理由、両方事項**

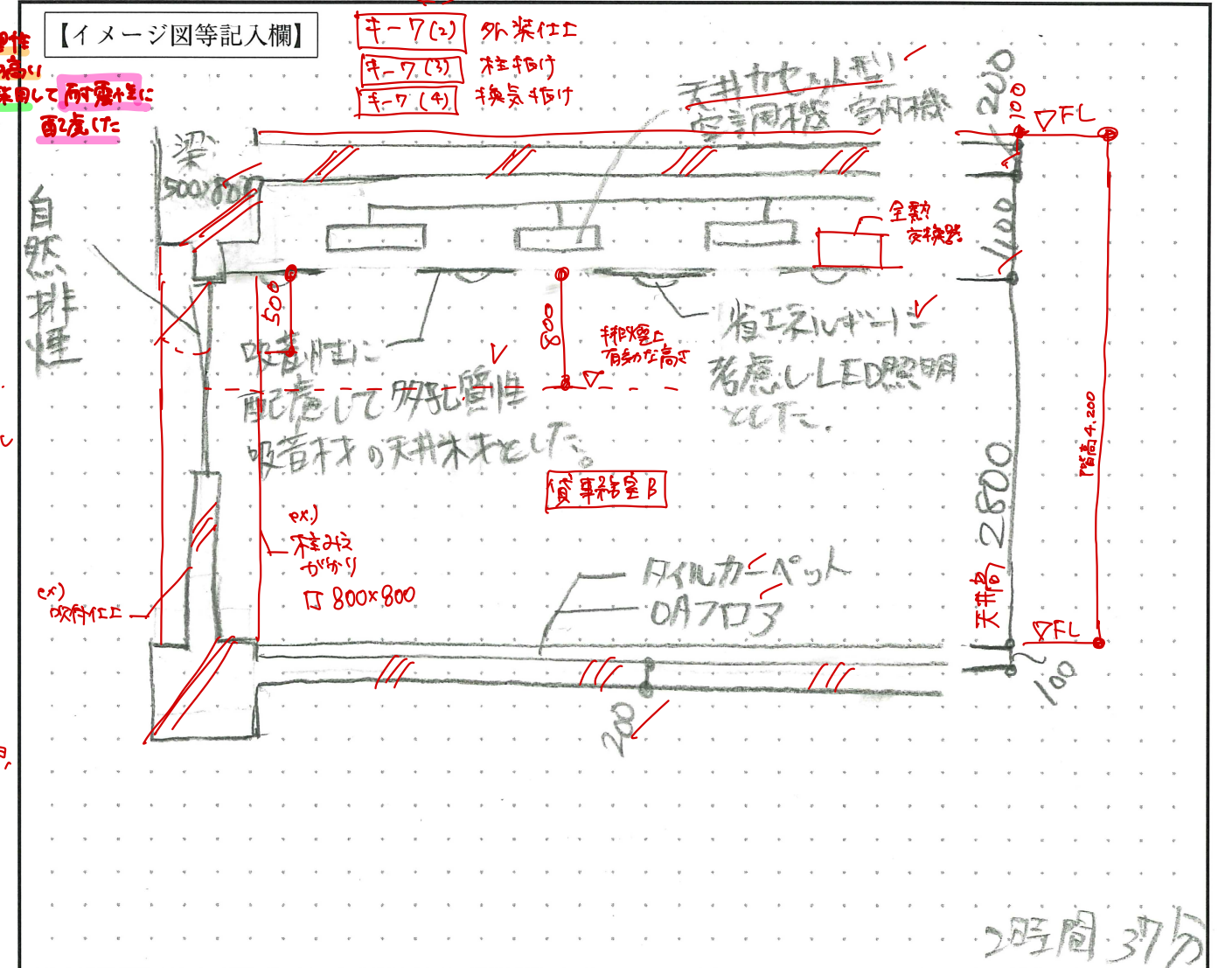
排煙方式 (○で囲む) **自然排煙** ・ 機械排煙 ・ その他( )  
 採用した理由及び配慮したこと : **経済性に配慮して排煙方式は自然排煙とした。**  
**自然排煙方式を計画段階の「何を」「どうして」を「経済性」に照らし、コストにどうなるかを記述する**  
**採煙理由、両方事項**

(6) 省エネルギー及び二酸化炭素排出量削減について、次の①~③の観点から配慮したこと

①パッシブ技術 **キ-6(1)(2) 省エネ、CO2削減**  
 貸事務室Aの**西側に垂直ルーバー**を設け、**西日に対する室温の上昇をおさえる計画**とした。 **目的に沿った効果を記述する** **空調負荷を抑え(使用電力の削減)により省エネルギー性を向上させた**  
 ②アクティブ技術 **キ-6(1)(3) 効果未記入**  
 屋上に**太陽光パネル**を設けることで、**建物利用時の一部の電気エネルギーを発電によりまかなうこと**とした。 **目的に沿った効果を記述する** **二酸化炭素削減に貢献した**  
 ③その他(創エネルギー技術、材料の選定等)  
 屋上庭園に設置する**ベンチに間伐材**を使用することで、**木材の廃棄をへらし、二酸化炭素排出量を削減した。**

(7) 貸事務室A又は貸事務室Bのペリメーターゾーンの断面詳細が分かる図やイラスト等(縮尺1/50程度、フリーハンドでもよい。)及び次の①~③のポイント(全て【イメージ図等記入欄】に記入する。なお、(1)~(6)に記述した内容やその他工夫した点を合わせて記入してもよい。)

- ① 建築計画上のポイント(天井高、床高、天井ふところ等の寸法及び内装仕上げ、外装仕上げ等を含む。)
- ② 構造計画上のポイント(柱、梁、床等の主要な構造部材(見えがかりも含む。))の断面寸法を含む。 **2時間 20分**
- ③ 設備計画上のポイント(空調、換気、排煙、照明等を含む。)



試験場	受験番号	氏名
2/16 (お)		あかね監督